

平成28年 新春講演会並びに賀詞交歓会

総務委員会 上保 繁幸

去る平成28年1月29日(金)、仙台ガーデンパレスにて東北地質調査業協会、一般社団法人全国さく井協会東北支部、一般社団法人斜面防災対策技術協会東北支部の3協会合同による恒例の新春講演会及び賀詞交歓会が開催されました。

新春講演会では、講師に株式会社ウィンドパワーエナジー代表取締役 小松崎衛氏をお迎えし、「日本発 大規模洋上風力発電プロジェクト始動」と題して、1)日本の電力事情と再生可能エネルギーの展望、2)風力発電の特徴と経済への波及効果、3)ウィンドパワーグループの洋上風力発電への取り組みについての各内容についてご講演を頂きました。



講演される小松崎氏

風力発電など再生可能エネルギーは、現代社会の身近なキーワードであるということもあり、参加者は大変熱心に興味深く講演に耳を傾けておられました。また、参加者には、既に風力発電を含めた再生可能エネルギー開発に関連する業務

に携わっている方も数多くおられ、今回のご講演は今後の業務に役立つ貴重なお話ではなかったでしょうか。

引き続き行われた賀詞交歓会は、近年では最多となる3協会総勢140名が参加し大変な賑わいとなりました。



高橋理事長の挨拶

開会に際し、3協会を代表して当協会理事長の高橋和幸氏が挨拶に立ち、「日本は自然災害多発国であり、特に近年、異常気象が常態化している中で我々3協会は災害に対して大きな役割を担っている。業界の持続的な発展のためにも若い力の活躍の場を広げ後継者の育成に積極的に取り組み、我々の役割を社会にアピールしよう」と力強いメッセージが発せられました。

続いて、来賓として御臨席頂きました、国土交通省東北地方整備局局長 川瀧弘之氏より3協会に対する大きな期待とあたたかい激励のお言葉を賜り、参加者一同、改めて身が引き締まる思いをされた

のではないのでしょうか。



川瀧局長の祝辞

その後、一般社団法人斜面防災対策技術協会東北支部長 奥山和彦氏による乾杯の発声で宴席がスタートしました。

久々の再会に互いの近況を確認しあう姿や、この季節恒例の東北各県から集まった会員による各地の積雪状況の話題を肴に酒を酌み交わす姿が見られ、終始和

やかな賀詞交歓会となりました。

締め括りは、一般社団法人全国さく井協会東北支部長の高田信一氏より、3協会会員及びそのご家族の健勝を祈念した手締めを行い、盛会のうちにお開きとなりました。



大勢の参加の賀詞交歓会